

プログラムの単位修得について

《 経 済 学 部 》

【経済学部 2010年度～2011年度入学者用】※2012年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修し、合計 4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 2010年度～2011年度入学者は、すべてのプログラム科目を自由科目(要卒業単位外)とします。
- (3) 詳細は、学部の履修要項等を参照してください。なお、本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

【経済学部 2007年度～2009年度入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修し、合計 4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。なお、本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 経済学部におけるプログラム科目の単位修得区分

- (1) 2007年度～2009年度入学の経済学科は、すべてのプログラム科目を16単位上限として自由選択科目に認定します。
- (2) 2007年度以降入学の国際経済学科は、すべてのプログラム科目を14単位上限として自由選択科目に認定します。
- (3) アントレプレナープログラム科目の履修単位数は、パッケージ履修であり、卒業時にパッケージ履修単位数を履修できていない場合は、すべての単位が卒業に必要な単位として認定されず、随意科目となります。

【経済学部 2006年度以前入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として20単位のパッケージ履修をしなければなりません。内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」は必修
 - ② 実践科目群から1科目を履修
- (2) 経済学部における履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。なお、本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 経済学部におけるプログラム科目の単位修得区分

- (1) 2005年度入学者は、すべてのプログラム科目を20単位上限として自由選択科目に認定します。
- (2) 2006年度入学の経済学科は、すべてのプログラム科目を18単位上限として自由選択科目に認定します。
- (3) 2006年度入学の国際経済学科は、すべてのプログラム科目を14単位上限として自由選択科目に認定します。
- (4) アントレプレナープログラム科目の履修単位数は、パッケージ履修であり、卒業時にパッケージ履修単位数を履修できていない場合は、すべての単位が卒業に必要な単位として認定されず、随意科目となります。

《 経 営 学 部 》

【経営学部 2007年度～2012年度入学者用】※2013年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 経営学部における履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。
 - (注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。ただし、経営学部生(文理総合インスティテュート所属学生を除く)については、希望する場合は「ダブル履修」も認めます。
 - (注2) 文理総合インスティテュート所属学生は、BKC副専攻との「ダブル履修」はできません。

2. 経営学部におけるプログラム科目の単位修得区分

2007年度～2012年度入学の経営学科・国際経営学科は、すべてのプログラム科目を16単位上限として専門科目に認定します。

【経営学部 2006年度以前入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として20単位のパッケージ履修をしなければなりません。内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」は必修
 - ② 実践科目群から1科目を履修
- (2) 経営学部における履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。
 - (注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。ただし、経営学部生(文理総合インスティテュート所属学生を除く)については、希望する場合は「ダブル履修」も認めます。
 - (注2) 文理総合インスティテュート所属学生は、BKC副専攻との「ダブル履修」はできません。

2. 経営学部におけるプログラム科目の単位修得区分

2006年度以前入学者は、すべてのプログラム科目を20単位上限として専門科目に認定します。

【理工学部 2007年度～2011年度入学者用】※2012年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 理工学部における履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 理工学部におけるプログラム科目の単位修得区分

- (1) 2007年度～2011年度入学生は、基礎科目群は8単位を上限に「基礎科目」分野に認定し、展開科目群および実践科目群は8単位を上限に「自由選択科目」に認定します。
- (2) 数理科学科、物理科学科以外は、基礎科目8単位および自由選択科目8単位のあわせて16単位を上限に、卒業に必要な単位数に含みます。
- (3) 数理科学科、物理科学科は、基礎科目8単位を上限に卒業に必要な単位に含み、自由選択科目8単位は随意科目とします。

科目系列	アントレプレナー教育プログラムの科目名	理工学部認定分野	認定科目名	単位
基礎科目群	アントレプレナーシップ論	基礎科目	特殊講義(基礎)Ⅰ (アントレプレナー)	2
	ベンチャービジネス論		特殊講義(基礎)Ⅰ (ベンチャービジネス)	2
	事業計画論		特殊講義(基礎)Ⅰ (事業計画論)	2
	資金計画論		特殊講義(基礎)Ⅰ (資金計画論)	2
	生産システム論		特殊講義(基礎)Ⅰ (生産システム論)	2
展開科目群	アントレプレナー特殊講義Ⅰ	自由選択科目	アントレプレナー特殊講義Ⅰ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅱ		アントレプレナー特殊講義Ⅱ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅲ		アントレプレナー特殊講義Ⅲ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅳ		アントレプレナー特殊講義Ⅳ	2
実践科目群	アントレプレナー実践講座	自由選択科目	アントレプレナー実践講座	2
	起業活動インターンシップ演習		起業活動インターンシップ演習	2 (～4)
	起業支援インターンシップ演習		起業支援インターンシップ演習	2(～4)
	産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習		産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習	2(～4)

【理工学部 2006年度以前入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として20単位のパッケージ履修をしなければなりません。内訳は、次の通りです。
 - ① 「アントレプレナーシップ論」は必修
 - ② 実践科目群から1科目を履修
- (2) 理工学部における履修方法、単位認定の仕方等については、次のとおりです。詳細は、学部の履修要項等を参照してください。
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は不可です。

2. 理工学部におけるプログラム科目の単位修得区分

- (1) 2006年度以前入学生は、基礎科目群は8単位を上限に「基礎科目」分野に認定し、展開科目群および実践科目群は8単位を上限に「自由選択科目」に認定します。
- (2) 数理科学科、物理科学科以外は、基礎科目8単位および自由選択科目8単位のあわせて16単位を上限に、卒業に必要な単位数に含みます。
- (3) 数理科学科、物理科学科は、基礎科目8単位を上限に卒業に必要な単位に含み、自由選択科目8単位は随意科目とします。

科目系列	アントレプレナー教育プログラムの科目名	理工学部認定分野	認定科目名	単位
基礎科目群	アントレプレナーシップ論	基礎科目	特殊講義(基礎)Ⅰ (アントレプレナー)	2
	ベンチャービジネス論		特殊講義(基礎)Ⅰ (ベンチャービジネス)	2
	経営戦略論		特殊講義(基礎)Ⅰ (経営戦略論)	2
	事業計画論		特殊講義(基礎)Ⅰ (事業計画論)	2
	資金計画論		特殊講義(基礎)Ⅰ (資金計画論)	2
	生産システム論		特殊講義(基礎)Ⅰ (生産システム論)	2
	知的財産戦略論(2008年度からは展開科目として開講)		特殊講義(基礎)Ⅰ (知的財産戦略論)	2
展開科目群	アントレプレナー特殊講義Ⅰ	自由選択科目	アントレプレナー特殊講義Ⅰ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅱ		アントレプレナー特殊講義Ⅱ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅲ		アントレプレナー特殊講義Ⅲ	2
	アントレプレナー特殊講義Ⅳ		アントレプレナー特殊講義Ⅳ	2
実践科目群	アントレプレナー実践講座	自由選択科目	アントレプレナー実践講座	2
	起業活動インターンシップ演習		起業活動インターンシップ演習	2(～4)
	起業支援インターンシップ演習		起業支援インターンシップ演習	2(～4)
	産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習		産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習	2(～4)

【情報理工学部 2010年度～2011年度入学者用】※2012年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
- ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 情報理工学部における履修方法、単位授与等については、次のとおりです。詳細は、履修要項等を参照してください。
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 情報理工学部におけるプログラム科目の単位授与区分

基礎科目群は8単位を上限に基礎科目分野として単位授与し、展開科目群および実践科目群は「自由科目(要卒単位外)」として単位授与します。

科目系列	アントレプレナー教育プログラムの科目名	情報理工学部単位授与分野	単位授与科目名	単位
基礎科目群	アントレプレナーシップ論	基礎科目	特殊講義(基礎)1 (アントレプレナー)	2
	ベンチャービジネス論		特殊講義(基礎)1 (ベンチャービジネス)	2
	事業計画論		特殊講義(基礎)1 (事業計画論)	2
	資金計画論		特殊講義(基礎)1 (資金計画論)	2
	生産システム論		特殊講義(基礎)1 (生産システム論)	2
展開科目群	アントレプレナー特殊講義I	自由科目	アントレプレナー特殊講義I	2
	アントレプレナー特殊講義II		アントレプレナー特殊講義II	2
	アントレプレナー特殊講義III		アントレプレナー特殊講義III	2
	アントレプレナー特殊講義IV		アントレプレナー特殊講義IV	2
実践科目群	アントレプレナー実践講座	自由科目	アントレプレナー実践講座	2
	起業活動インターンシップ演習		起業活動インターンシップ演習	2(～4)
	起業支援インターンシップ演習		起業支援インターンシップ演習	2(～4)
	産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習		産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習	2(～4)

【情報理工学部 2007年度～2009年度入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。
- ① 「アントレプレナーシップ論」(必修)および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
 - ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
- (2) 情報理工学部における履修方法、単位授与等については、次のとおりです。詳細は、履修要項等を参照してください。
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 情報理工学部におけるプログラム科目の単位授与区分

- (1) 基礎科目群は8単位を上限に、基礎科目分野として下表の通り単位授与します。

科目系列	アントレプレナー教育プログラムの科目名	単位授与科目名	単位
基礎科目群	アントレプレナーシップ論	特殊講義(基礎)1	2
	ベンチャービジネス論	起業論	2
	事業計画論	プロジェクト管理論	2
	資金計画論	ベンチャー・ファイナンス	2
	生産システム論	特殊講義(基礎)1	2

- (2) 実践科目群(アントレプレナー実践講座を除く)は2単位を上限に、専門科目分野として下表の通り単位授与します。

科目系列	アントレプレナー教育プログラムの科目名	単位授与科目名	単位
実践科目群	起業活動インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)
	起業支援インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)
	産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)

- (3) 展開科目群「アントレプレナー特殊講義I」～「アントレプレナー特殊講義IV」および実践科目群「アントレプレナー実践講座」は、要卒単位としては単位授与せず、自由科目として扱います。

【情報理工学部 2006年度以前入学者用】

1. プログラム科目の履修方法

- (1) 原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として20単位のパッケージ履修をしなければなりません。内訳は、次の通りです。
- ① 「アントレプレナーシップ論」は必修
 - ② 実践科目群から1科目を履修
- (2) 情報理工学部における履修方法、単位授与等については、次のとおりです。詳細は、履修要項等を参照してください。
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 情報理工学部におけるプログラム科目の単位授与区分

(1) 基礎科目群は8単位を上限に、基礎科目分野として下表の通り単位授与します。

科目 系列	アントレプレナー教育 プログラムの科目名	単位授与科目名	単位
基礎 科目群	アントレプレナーシップ論	特殊講義（基礎） 1	2
	ベンチャービジネス論	起業論	2
	経営戦略論	特殊講義（基礎） 1	2
	事業計画論	プロジェクト管理論	2
	資金計画論	ベンチャー・ファイナンス	2
	生産システム論	特殊講義（基礎）	2
	知的財産戦略論（2008年度からは展開科目として開講）	知的財産管理論	2

(2) 実践科目群（アントレプレナー実践講座を除く）は2単位を上限に、専門科目分野として下表の通り単位授与します。

科目 系列	アントレプレナー教育 プログラムの科目名	単位授与科目名	単位
実践 科目群	起業活動インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)
	起業支援インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)
	産学協同アントレ・起業活動インターンシップ演習	インターンシップ	2(～4)

(3) 展開科目群「アントレプレナー特殊講義Ⅰ」～「アントレプレナー特殊講義Ⅳ」および実践科目群「アントレプレナー実践講座」は、要卒単位としては単位授与せず、自由科目として扱います。

< 生 命 科 学 部 >

【生命科学部 2009年度～2011年度入学者用】 ※2012年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。

- ① 「アントレプレナーシップ論」（必修）および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
- ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修
(注1) 本プログラムとBKC副専攻との「ダブル履修」は認めません。

2. 生命科学部におけるプログラム科目の修得区分

- (1) 単位修得区分は、「自由選択科目」です。
- (2) 8単位を上限に、卒業に必要な単位として参入できます。

< 薬 学 部 >

【薬学部 2009年度～2011年度入学者用】 ※2012年度以降の入学生は受講できません。

1. プログラム科目の履修方法

原則としてプログラムに設置されている科目から、全体として16単位のパッケージ履修をしなければなりません。その内訳は、次の通りです。

- ① 「アントレプレナーシップ論」（必修）および基礎科目群4科目中3科目を履修の計4科目履修
- ② 前期に開講される展開科目群4科目中3科目を履修した後、3回生の夏期又は後期に履修できる実践科目群4科目中1科目以上を履修

2. 薬学部におけるプログラム科目の単位修得区分

- (1) 単位修得区分は、「自由選択科目」です。
- (2) 8単位を上限に、教養科目として算入できます。